

中山道・碓氷峠越を歩く

国史跡に追加指定された中山道碓氷峠越ですが、実際にその行程を歩いた人は意外と少ないのではないのでしょうか。そこで、まだ歩いたことがない市職員に初めての峠越えを体験してもらい、その魅力を感じてもらいました(※4月下旬取材)。



☎文化財課文化財活用係(☎内線3420)



① 笹沢

中山道碓氷峠越の中で、唯一道の近くに川が流れ、その水を利用できた場所。文政11(1828)年から安政元(1854)年まで、沢の脇に人馬施行所(休憩所)が営まれました。



② 栗ヶ原

明治8(1875)年、本県で初めて見回り方屯所(交番)が設置された場所です。また、明治天皇が馬車で通った道路と中山道との分岐点でもあります。



③ 座頭ころがし

傾斜が急な堀底のような場所です。落ち葉や小石が道にたまっており、雨が降り道がぬかるむと滑りやすくなるので通行には注意が必要です。



④ 堀切

天正18(1590)年、松井田城代大道寺政繁が、前田利家などを主将とする北国勢を迎え撃つため、街道を土橋状に掘りこんだ場所といわれています。

